



# りゅうぎん決算説明資料

平成21年9月期



第18回りゅうぎん紅型デザインコンテスト 大賞  
「黄金雨（ゴールデンシャワー）」名越 早織

## 県内経済環境

県内景気動向	1
観光	2

## 21年9月期決算の概況

21年9月期決算概況	3
コア業務純益	4
貸出金	5
預金・預かり資産	6
経費	7
不良債権処理額	8
開示債権	9
中間純利益	10
自己資本比率	11
22年3月期業績の見通し	12

## 中期経営計画

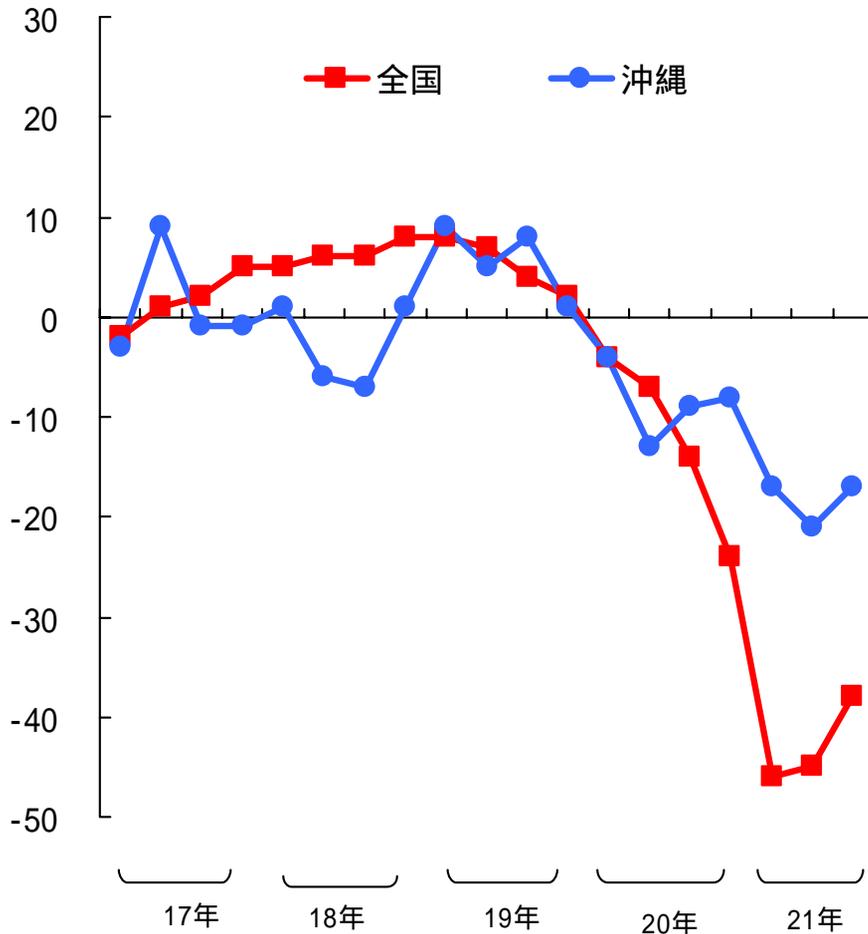
中期経営計画”CHALLENGE51”	13
顧客基盤の一層の拡大	14
顧客基盤の一層の拡大	15
新金融サービスの拡大・強化	16
チャネル戦略の新展開	17

# 県内景気動向

## 県内景気は後退しつつある

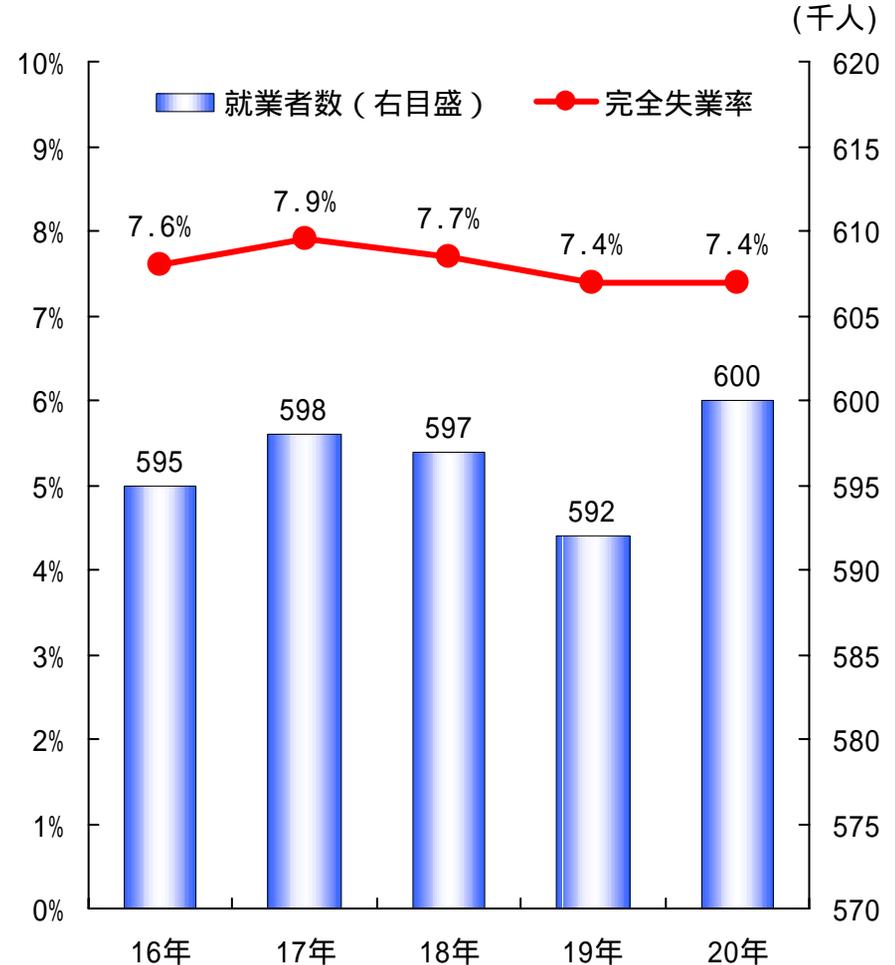
日銀短観

(業況判断DI：良い - 悪い)



(備考) 19年3月調査より対象企業が見直されたため、それ以前とは不連続。

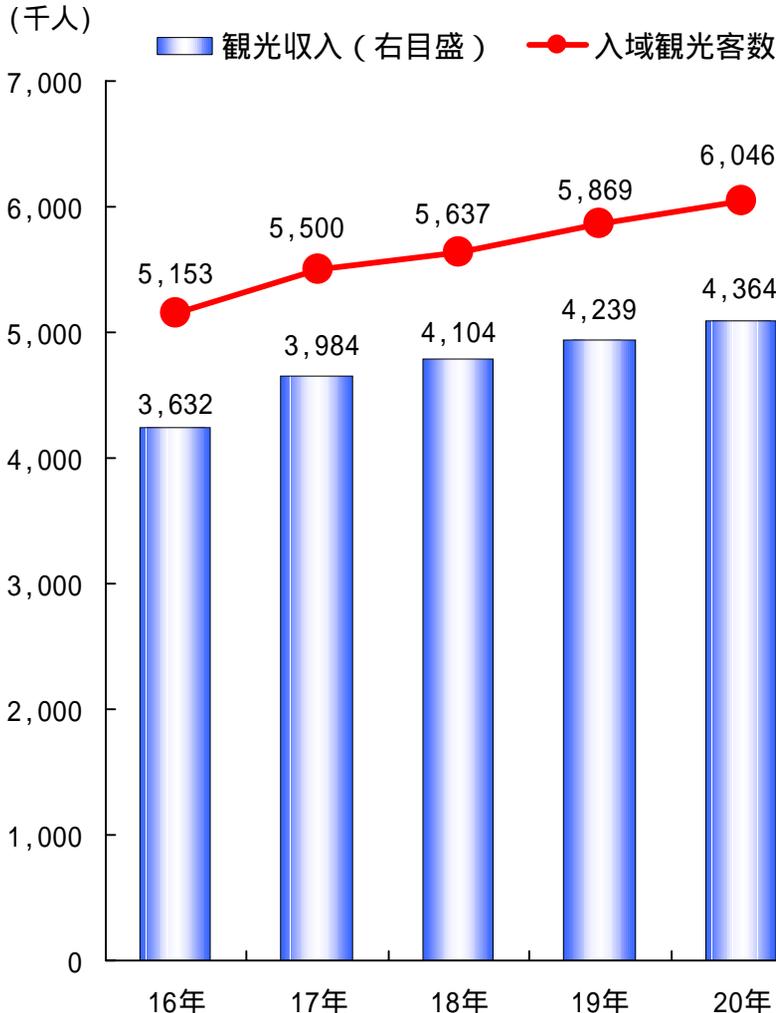
失業率の推移



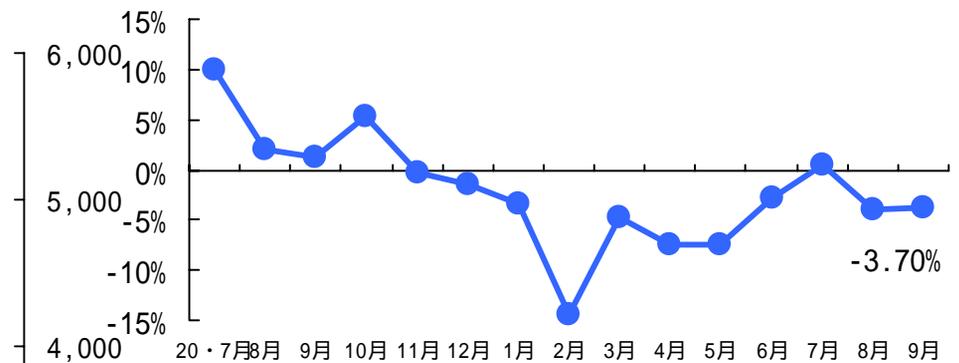
(備考) 各年の平均値。

## 入域観光客数は足元前年を下回って推移

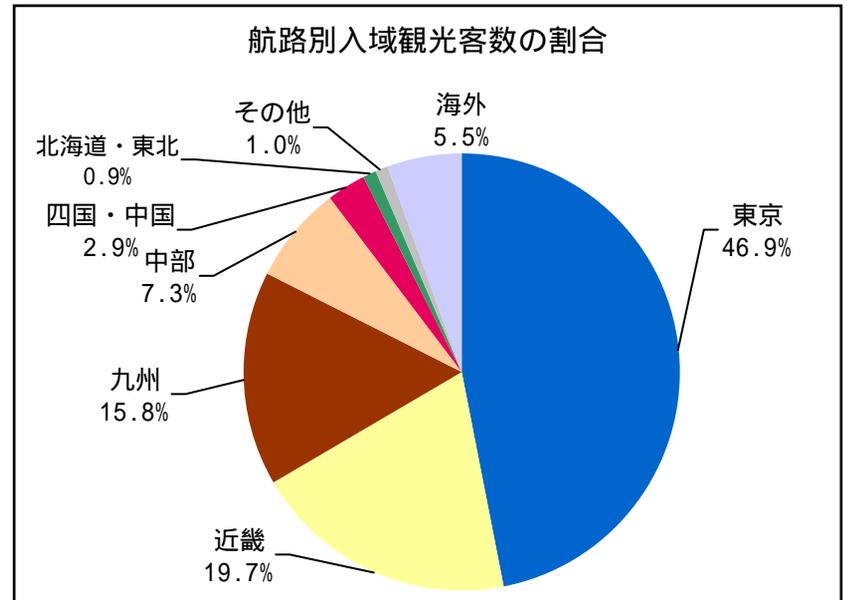
入域観光客数および観光収入の推移



入域観光客数の月次動向 (億円)(前年比)



航路別入域観光客数の割合



(備考) 20年の観光収入の値は、1人当たり消費額が前年並とした場合の試算値。2

# 21年9月期決算概況

資金利益の増加、与信コストの減少等により増益

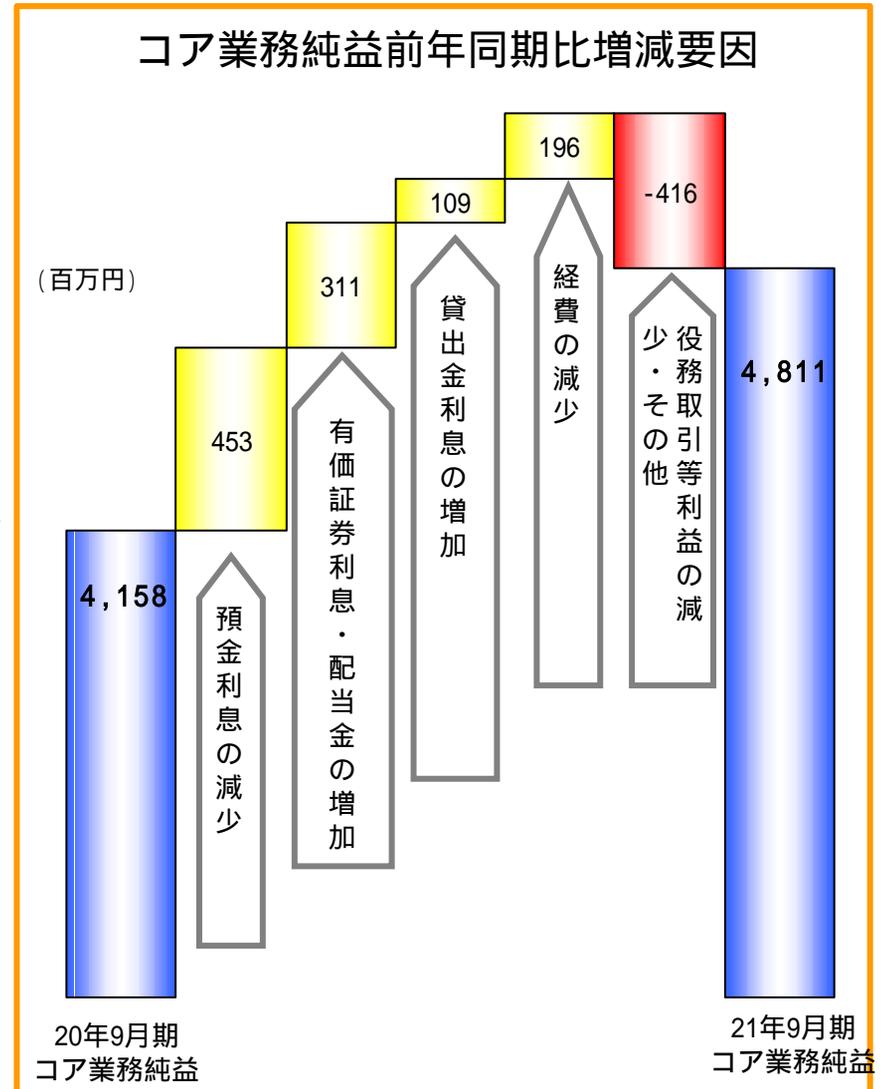
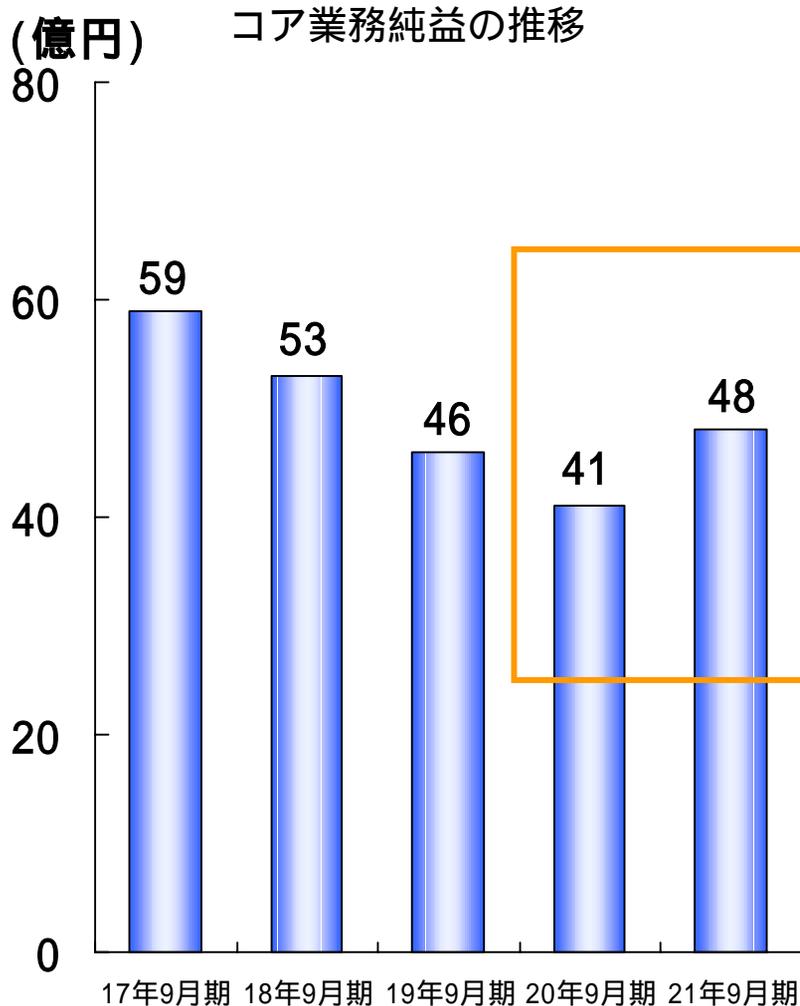
	20年9月期	21年9月期	20年9月期比	(億円)
業 務 粗 利 益	142	154	+ 12	
経 費	107	105	-2	
業 務 純 益	34	47	+ 13	
コ ア 業 務 純 益	41	48	+ 7	
経 常 利 益	17	39	+ 22	
中 間 純 利 益	14	27	+ 13	
不 良 債 権 処 理 額	17	10	-7	
ネ ッ ト 与 信 コ ス ト	15	3	-12	

(備考) 1. 「不良債権処理額」は、一般貸倒引当金繰入額を含む。

2. 「ネット与信コスト」は、「不良債権処理額」から償却債権取立益を控除したものの。

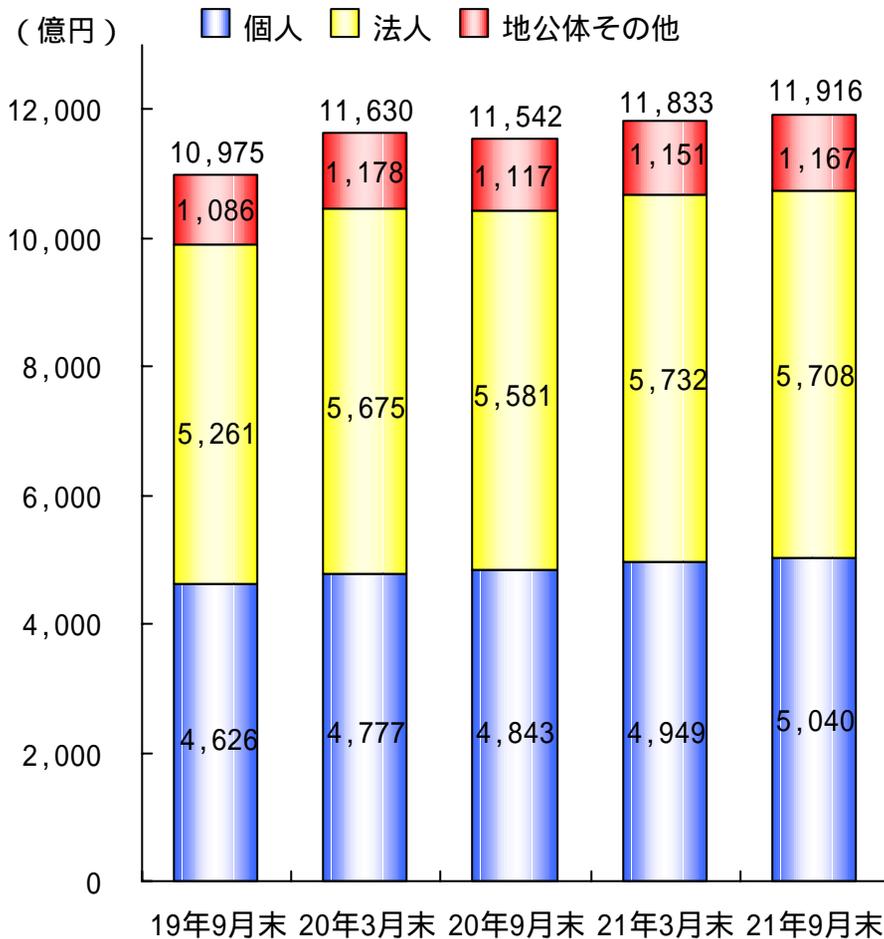
# コア業務純益

預貸金収支の改善、有価証券利息の増加等により増加

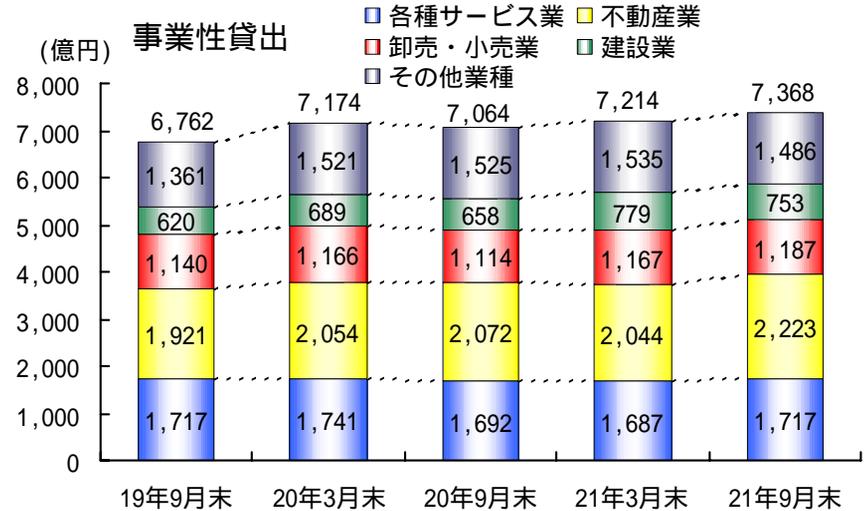


## 法人向け・個人向けともに前年比増加

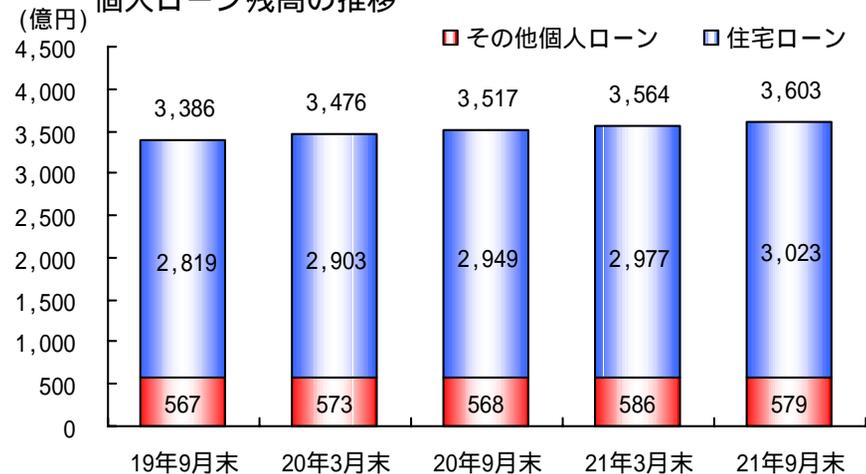
### 貸出金残高の推移



### 事業性貸出



### 個人ローン残高の推移

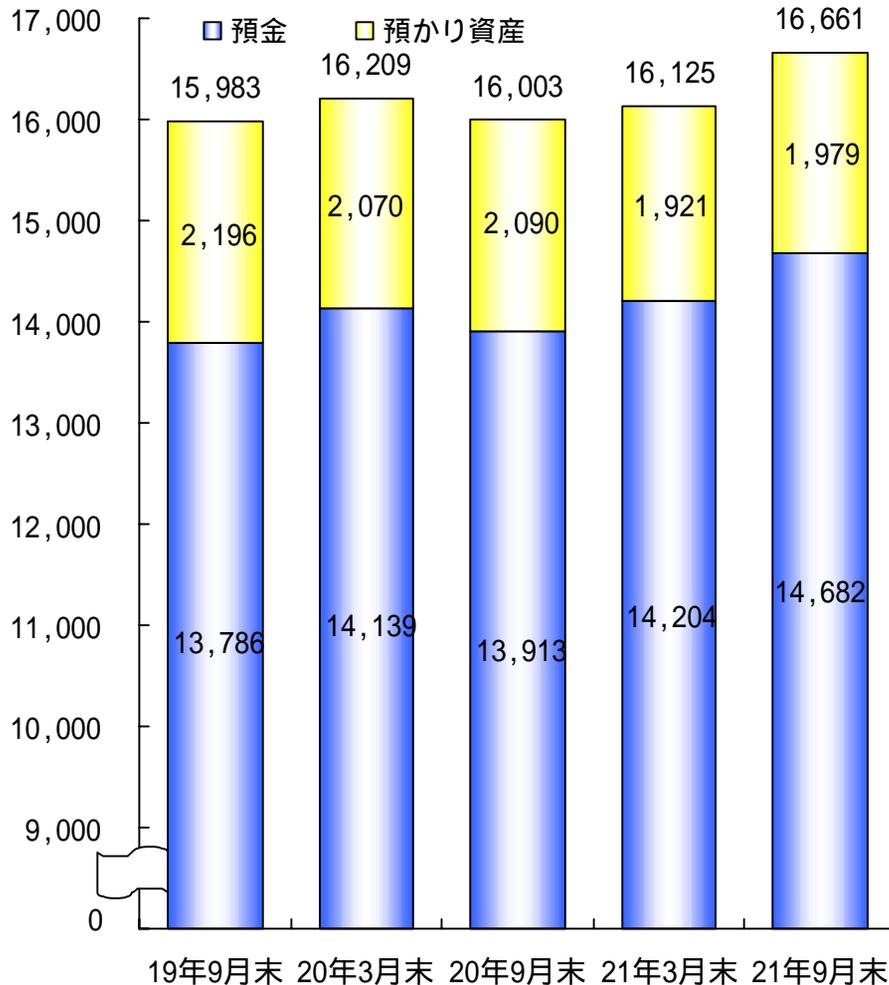


(備考) 個人事業性貸出の取り扱いが異なることなどから、右グラフ上下の合計と左グラフは一致しない。

# 預金・預かり資産

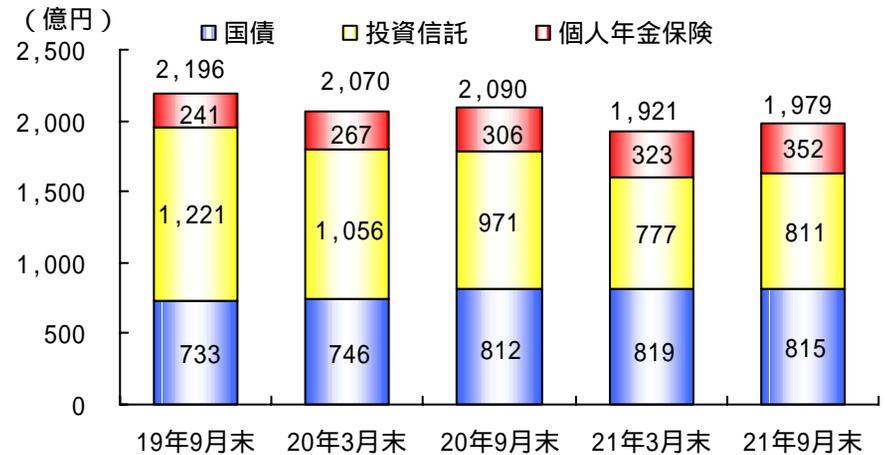
## 個人預金、法人預金ともに増加

(億円) 預金と預かり資産の合計残高の推移



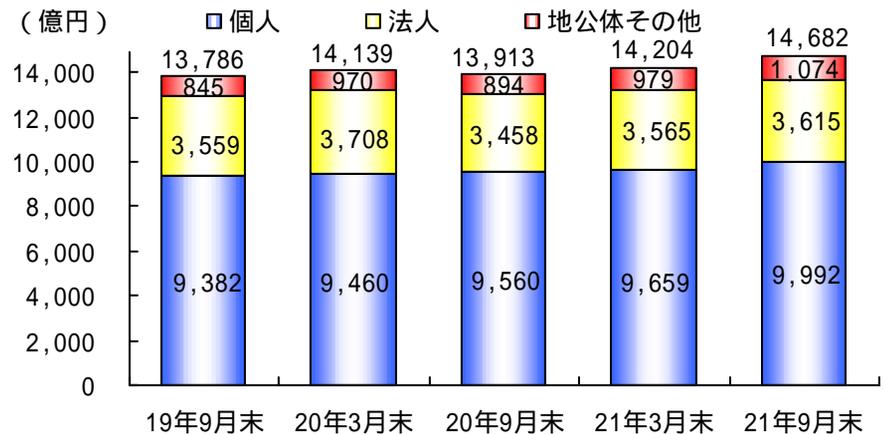
(備考) 預かり資産は、投資信託・個人年金保険(契約額累計)・国債の合計。

預かり資産残高の推移

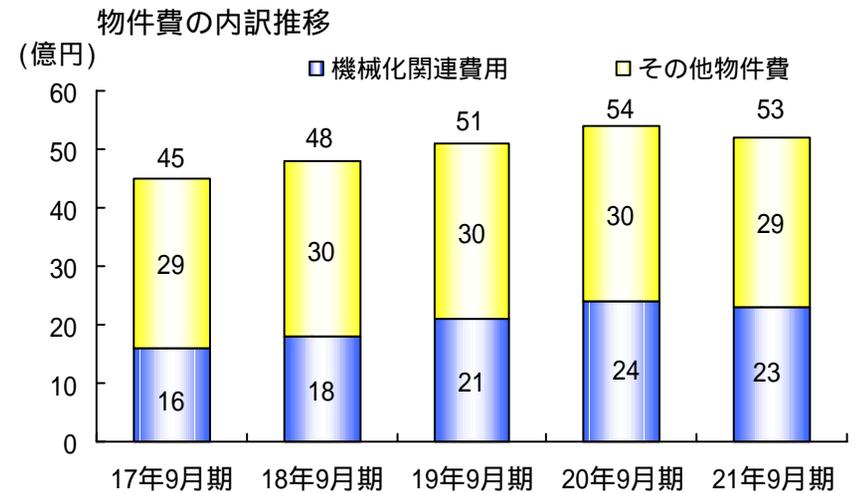
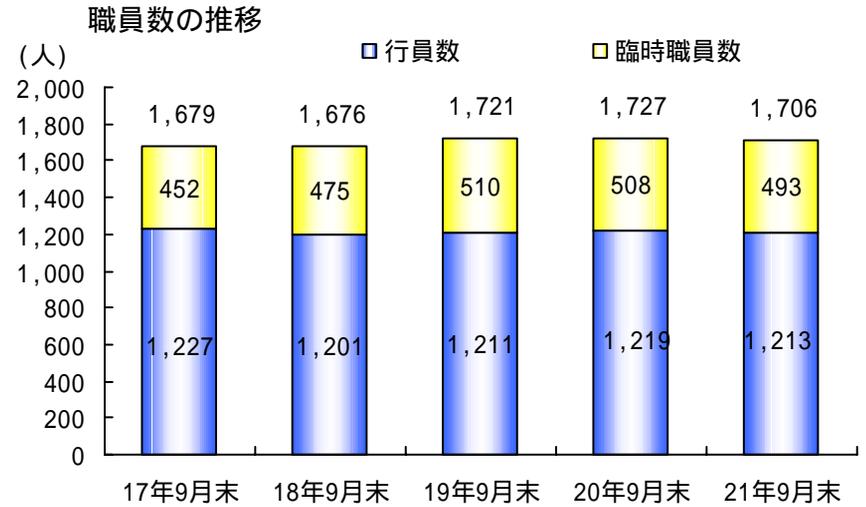
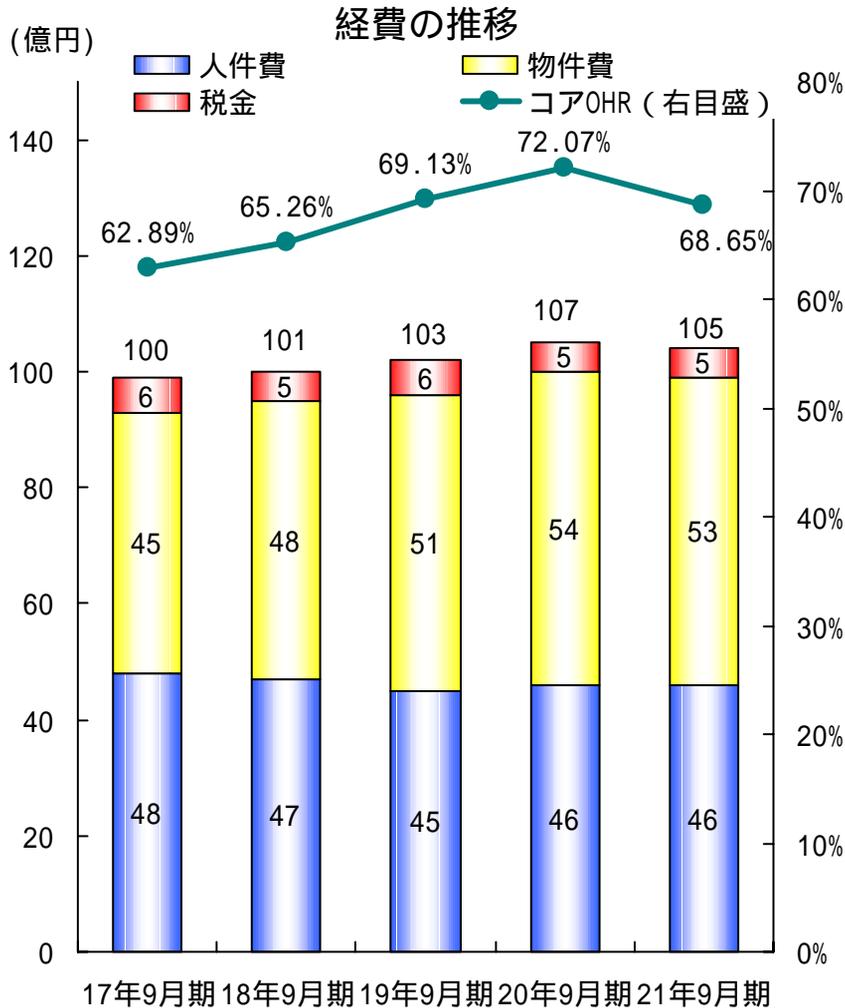


(備考) 個人年金保険は契約額の累計。

預金残高の推移

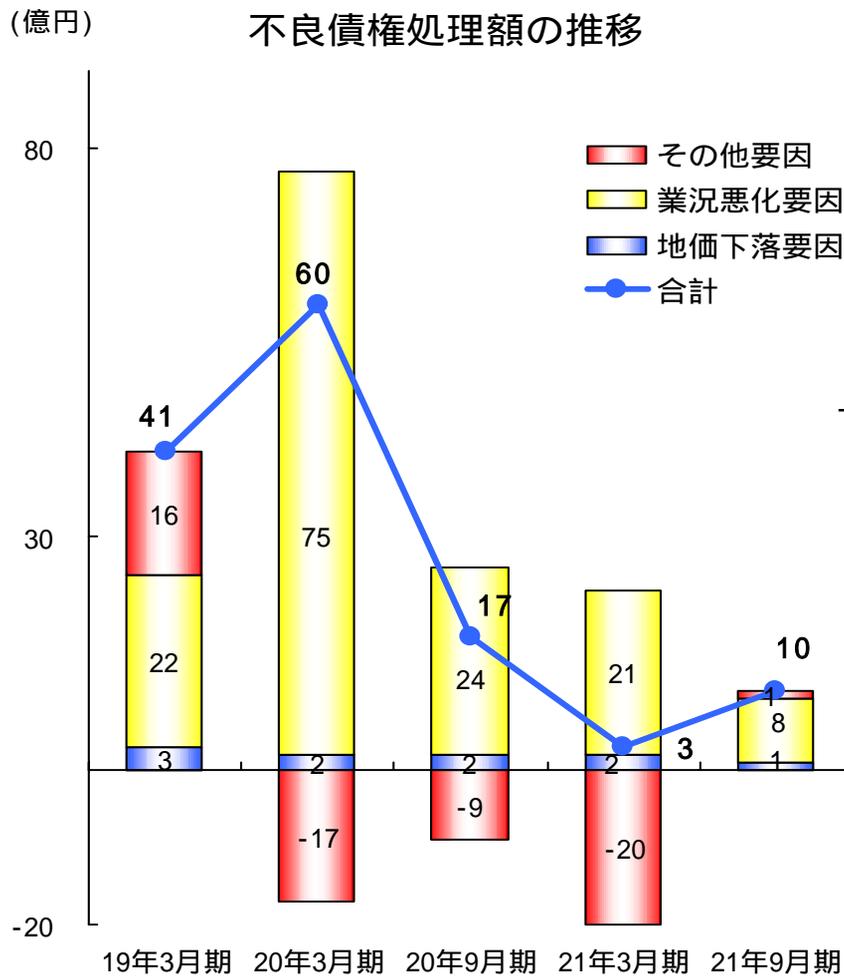


## 物件費が減少

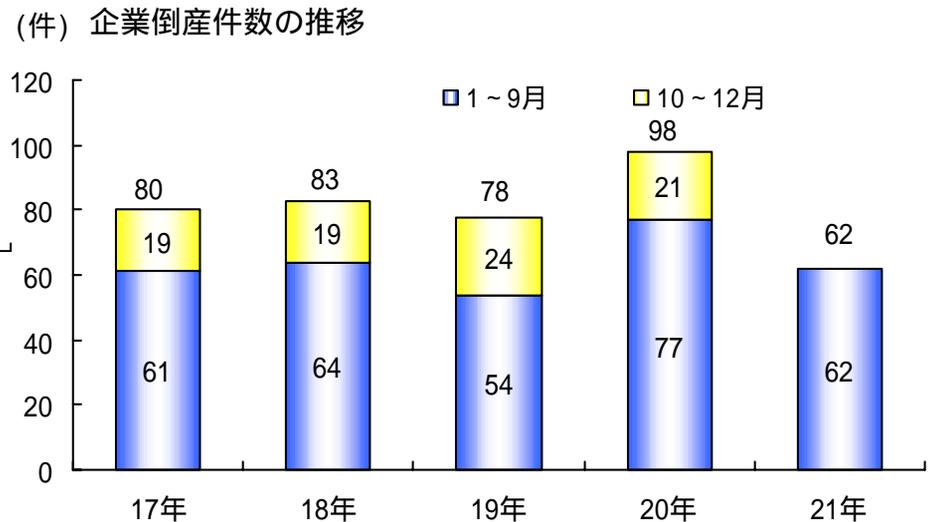
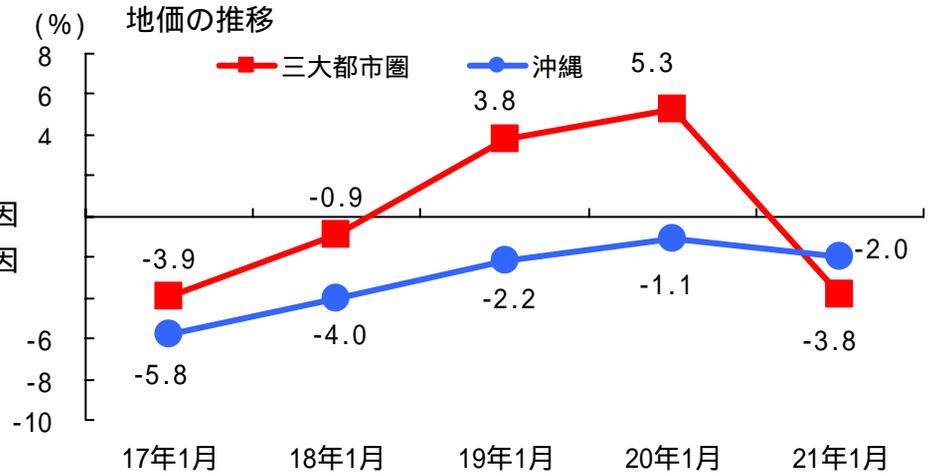


# 不良債権処理額

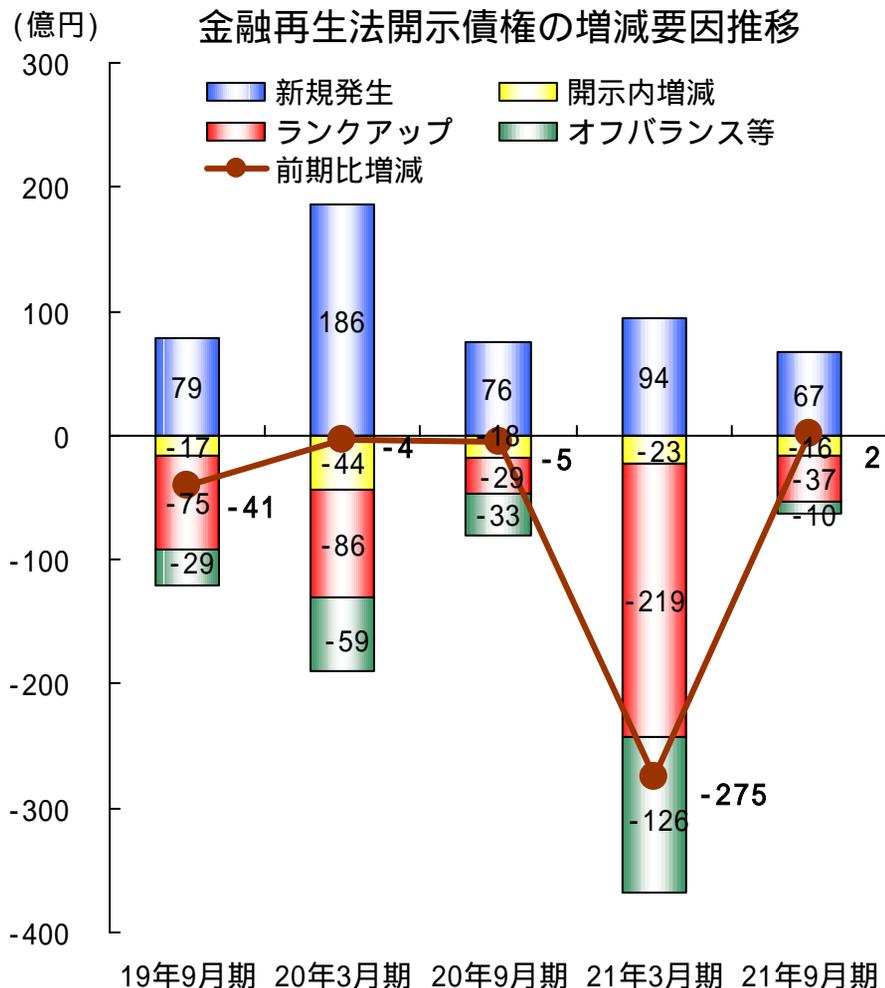
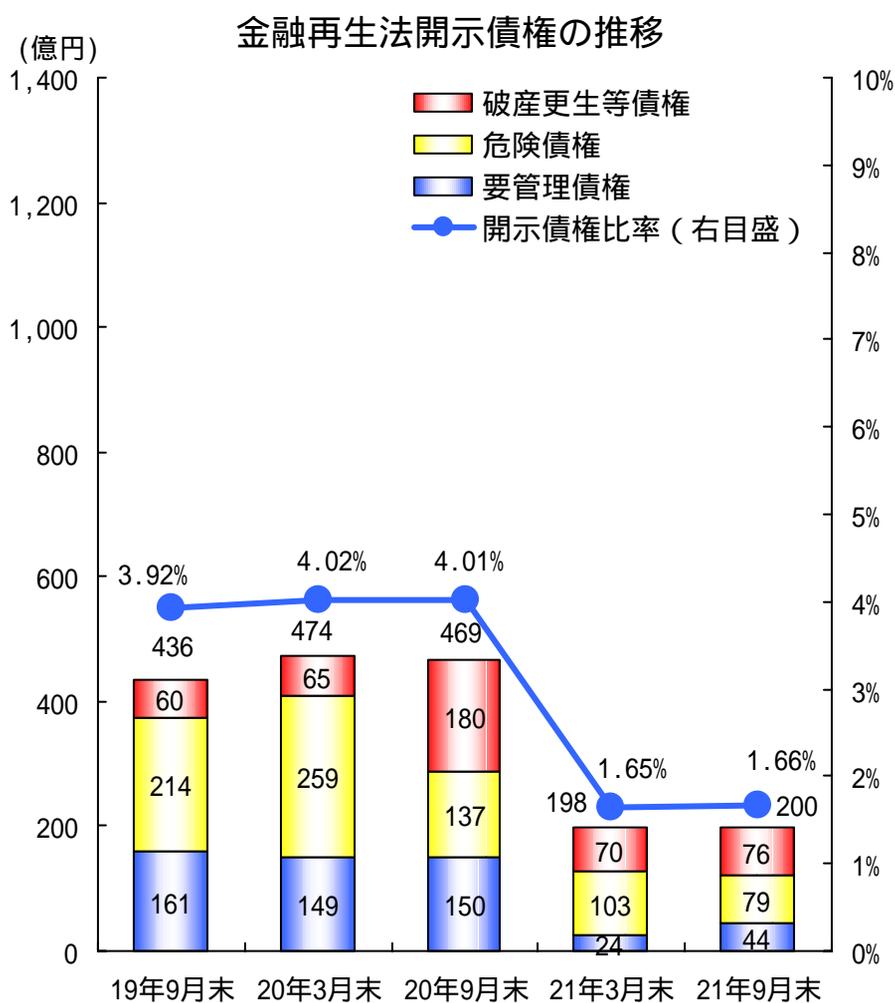
## 企業倒産が前年同期比減少



(備考) 「不良債権処理額」は、償却債権取立益控除前の与信費用。

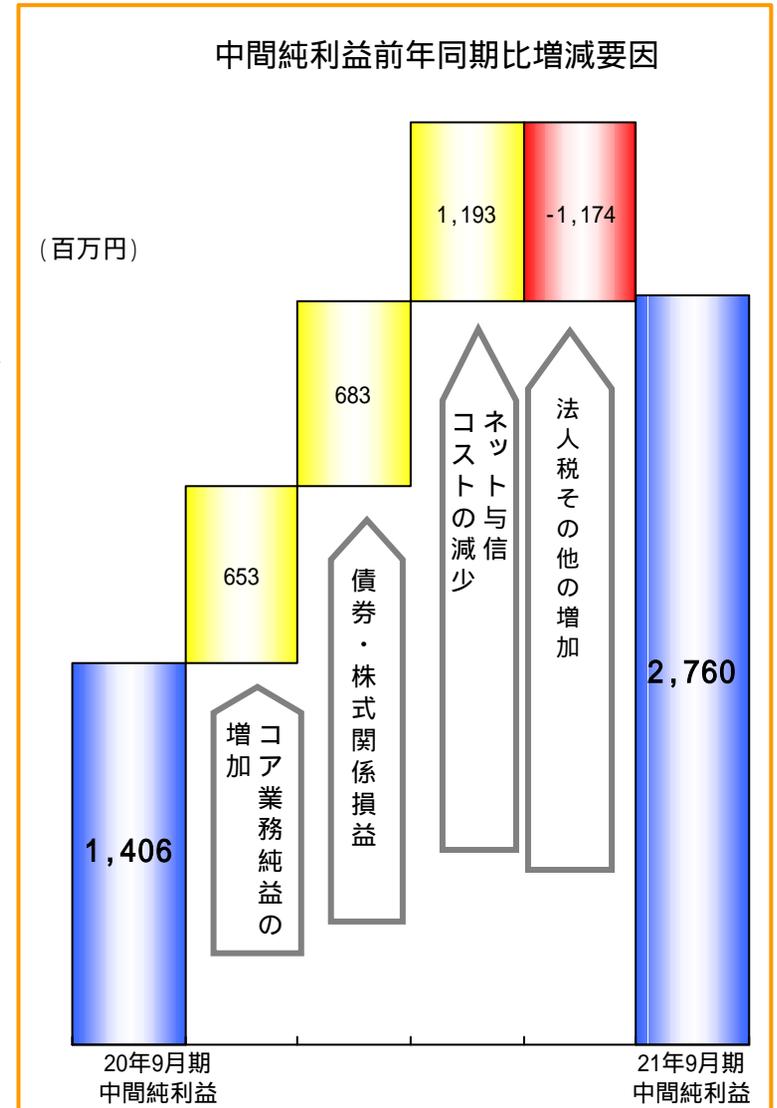
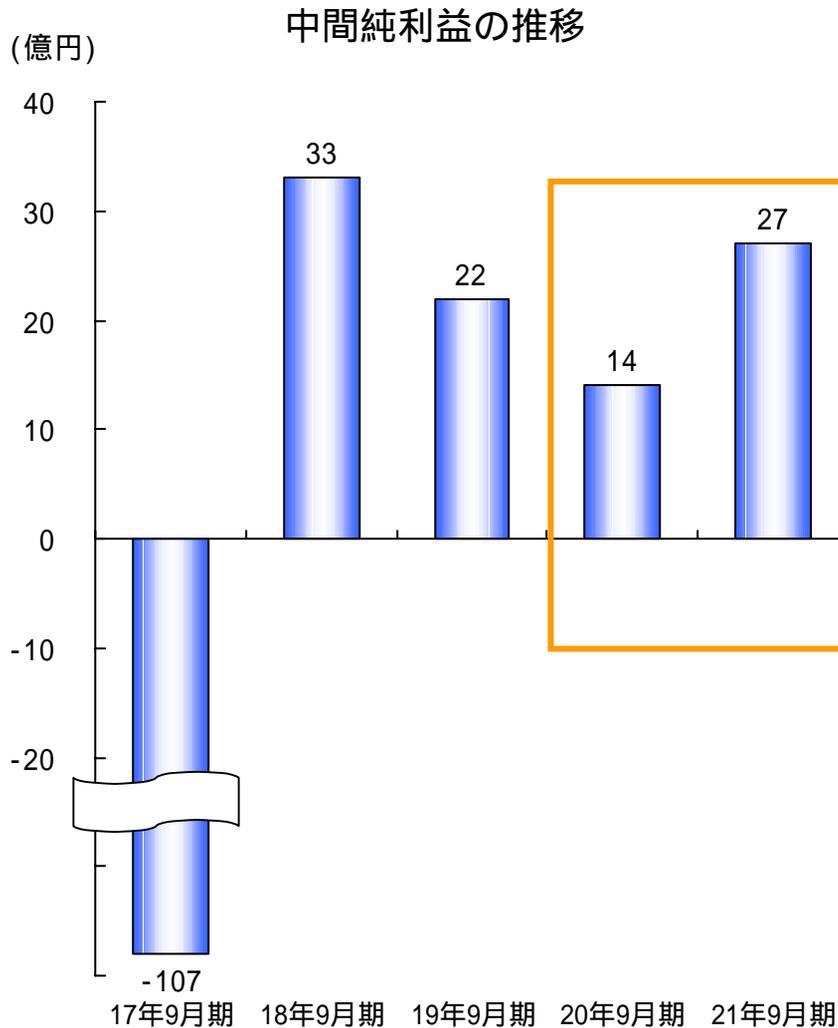


## 開示債権額・比率とも低水準を維持



# 中間純利益

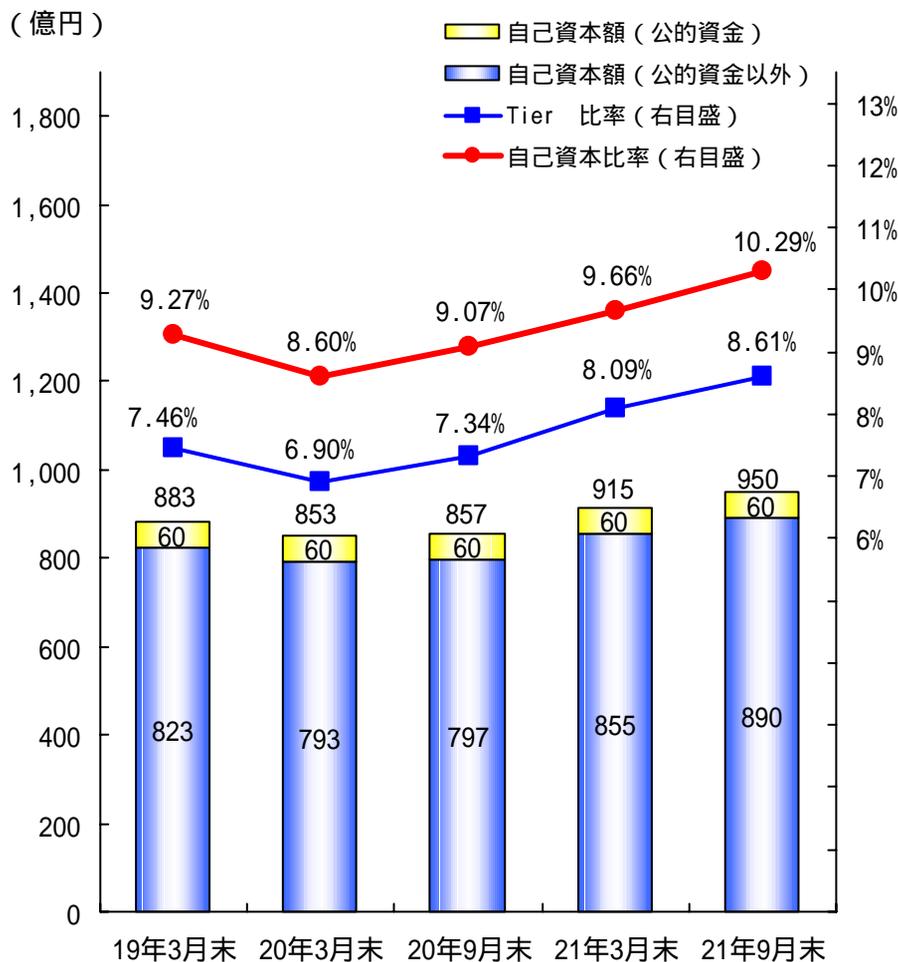
## 資金利益の増加、与信コストの減少等により増益



# 自己資本比率

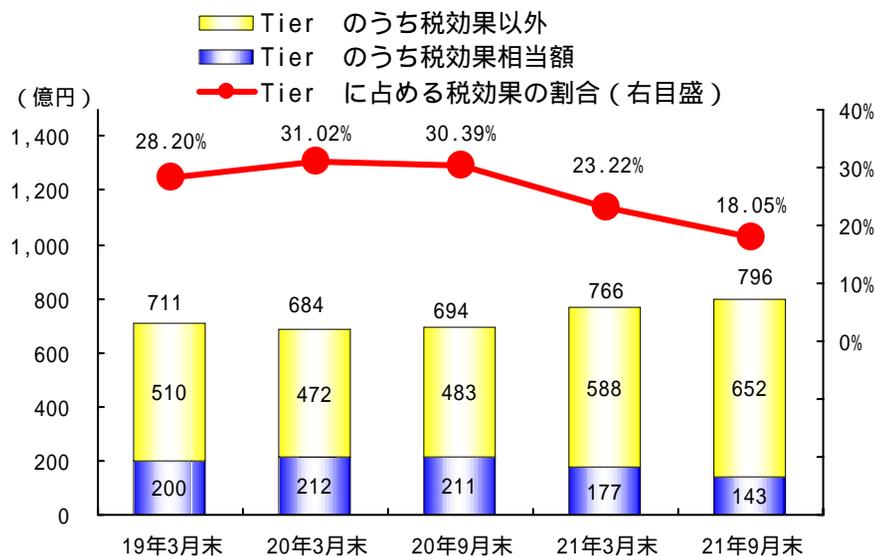
## 利益の積み上げ等により上昇

### 自己資本比率の推移



(備考) 19年3月末に自己資本比率算定に係る制度（BIS基準）が変更された。

### 税効果依存度の推移



### - 公的資金優先株式の状況 -

当初発行総額	400億円
一部返済額(時価)	340億円(405億円)
一部返済日	H18.10.11
現存額	60億円
現転換価額	1,196円
一斉転換日	H22.10.1

# 22年3月期業績の見通し

## 経常利益、当期純利益ともに増益予想

(単位：億円)

	21年3月期 実績	22年3月期 予想	21年3月期比
経常収益	398	390	- 8
コア業務純益	86	92	+ 6
経常利益	13	65	+ 52
当期純利益	33	46	+ 13
与信コスト	-4	13	+ 17
開示債権比率	1.65%	1%台	

中期経営目標：「課題解決機能を発揮して成長する新たなビジネスモデルの確立」

～ 新たな成長戦略の展開～

計画期間：平成19年4月～22年3月

## 基本戦略

### 問題解決型金融機能の強化

地域の企業や個人の課題を発見し、解決することで県内の預貸シェアを高め、県内リーディングバンクとしての地位を不動のものとしします。さらに、役務収益の増強を図り、安定した収益構造を確立します。

### 新しい銀行イメージの構築

従来固定的であった銀行業のスタイルを新しい視点で見直し、新しい銀行イメージをお客様のみならず、行員に対しても浸透させていきます。

### 持続的成長を支える経営体制の構築

資本効率を高め、企業価値の向上を図るとともに、実効性の高い法令等遵守態勢の確立、地域社会・環境などに配慮する社会的責任経営に取り組みます。

## 主要施策

預貸取引の開拓・深耕による顧客基盤の拡大

新金融サービスの拡大・強化

チャネル戦略の新展開

伝統的業務プロセスの再構築

選ばれる銀行ブランドの確立

働きがいのある人事制度の構築

統合的リスク管理態勢の構築

市場運用力の強化

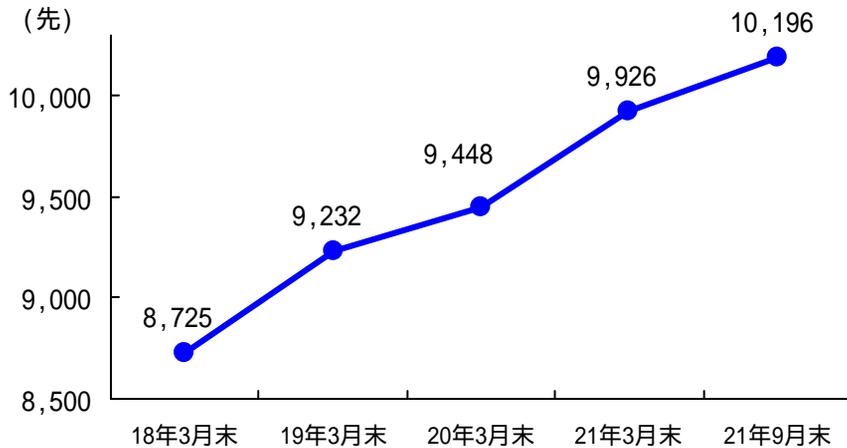
法令等遵守体制の強化

企業の社会的責任への取り組み

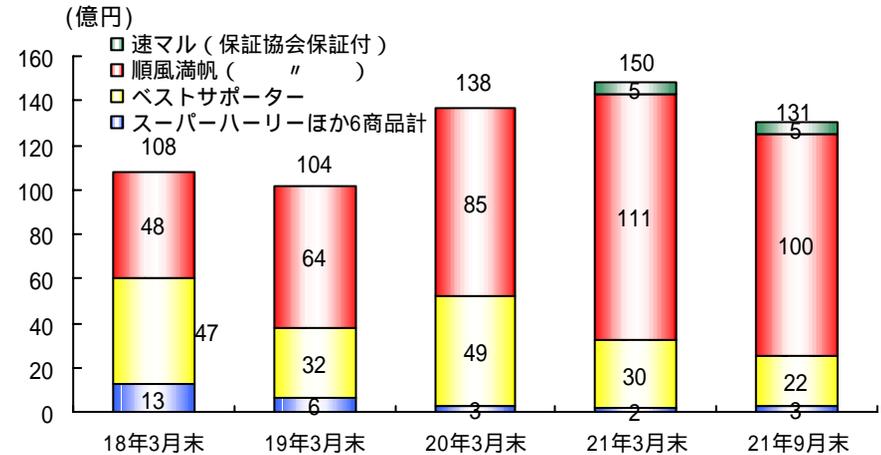
# 主要施策 “顧客基盤の一層の拡大”

多様なニーズに応え、顧客基盤の一層の拡大に取り組みます。

## 事業性融資先数の推移

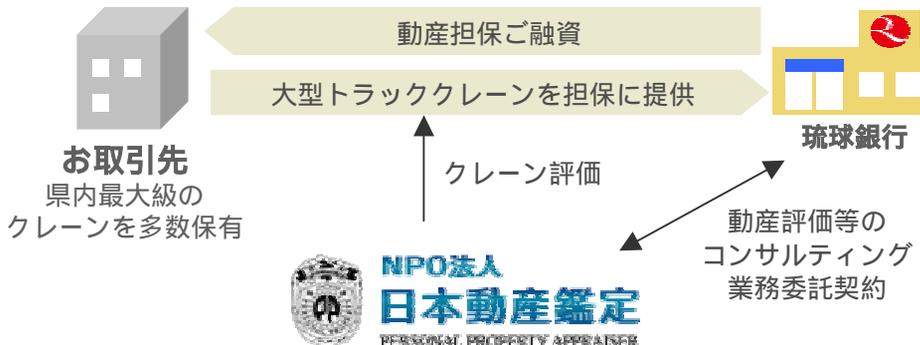


## 事業性自動審査等融資残高の推移



## 新たな手法によるご融資への取り組み

クレーンを担保にしたご融資（動産担保融資）の事例



## 中小企業のみなさまにスピーディーなご融資対応



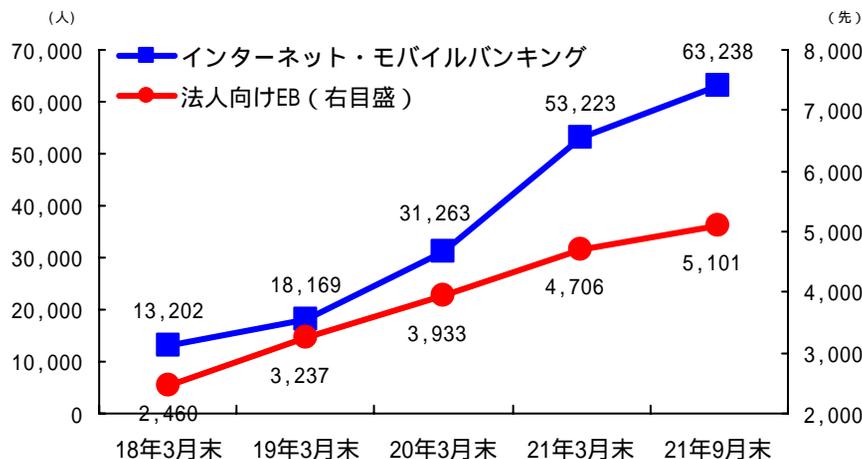
第三者保証人不要  
スピード回答！



# 主要施策 “ 顧客基盤の一層の拡大 ”

インターネットの活用などにより、便利なサービス・機能を充実させます。

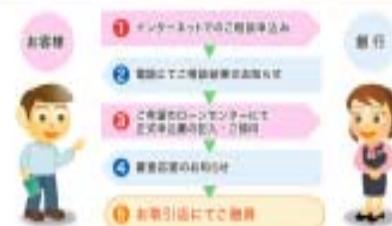
## インターネットバンキング会員数が増加



## インターネットでのお取引が充実

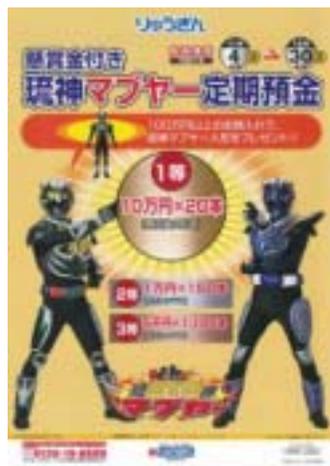
インターネットによる住宅ローン  
相談受付開始 (H21.7~)

※インターネットでの申込方法



## ご当地人気キャラクターの活用

沖縄で人気の子供向けキャラクター「琉神マブヤー」を当行商品に活用しヤングファミリー層を開拓



琉神マブヤーへの協賛は  
県内金融機関では当行のみ

## 多様な住宅ローンニーズに対応

- 16年 3月 働く女性の住宅ローン”Anju”発売
- 17年 10月 “エコハウス住宅ローン”発売
- 18年 7月 移住者向け”セカンドステージローン”発売
- 18年 10月 サポート8(3大疾病+5つの慢性疾患保障)取扱開始

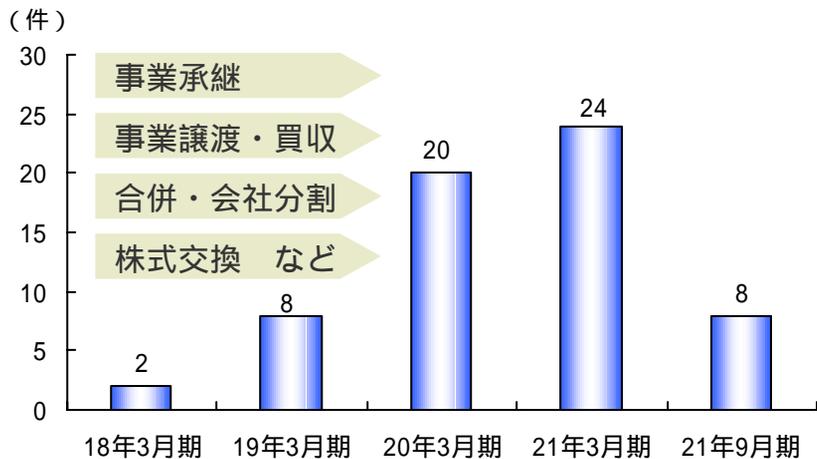
- 20年 4月 長期固定金利型商品発売
- 20年 5月 地銀住宅ローン共同研究会に参加
- 20年 10月 新特典「Club Off for Anju」提供開始
- 20年 12月 新特典「Club Off for ハッピーエブリデイ」開始

- 21年 6月 住宅リフォームローンをリニューアル
- 21年 8月 ローンセンターの機能強化

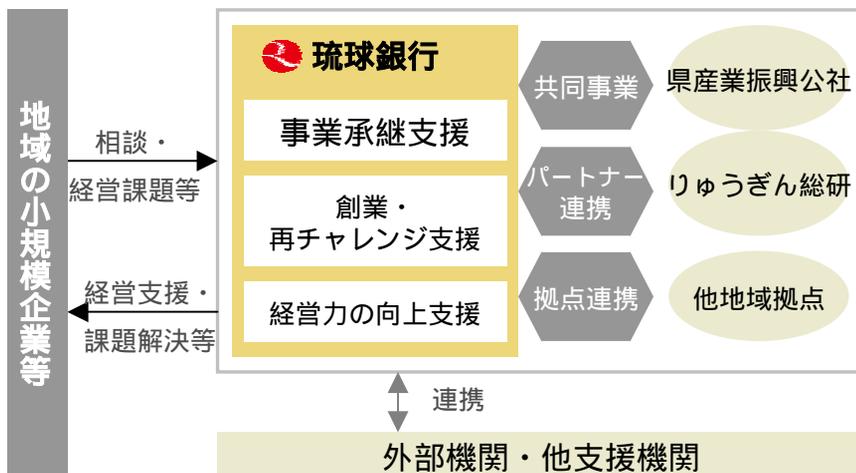
# 主要施策 “新金融サービスの拡大・強化”

問題解決型金融サービスを提供し、お取引先企業とともに成長します。

## M&A、コンサルティング等契約受託件数

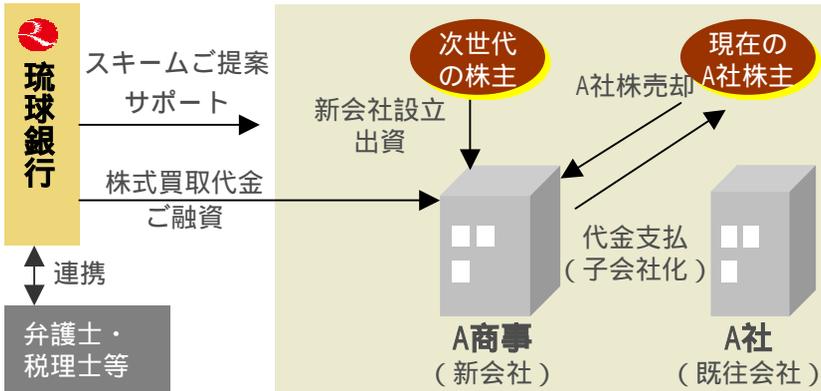


## 「地域力連携拠点」の活動を継続 (H20.5～)



## 事業承継アドバイザー

組織再編を活用した事業承継対策スキーム例



## 地域密着型金融の優れた事例として県内唯一の顕彰



地域密着型金融として特に先進的な取組み等を行なっている地域金融機関を年1回顕彰するもの

「地域密着型金融に関するシンポジウムin沖縄」において、沖縄総合事務局から顕彰される (H21.2.4)



# 主要施策 “チャンネル革命”

身近な店舗で、高度で安心なサービスをご提供します。

## 営業力強化のためのチャンネル革命

### 目的

営業力の強化を図るため、効果的な営業体制の構築と、顧客利便性向上による競争力強化に資するチャンネル戦略を実行する

### 計画期間

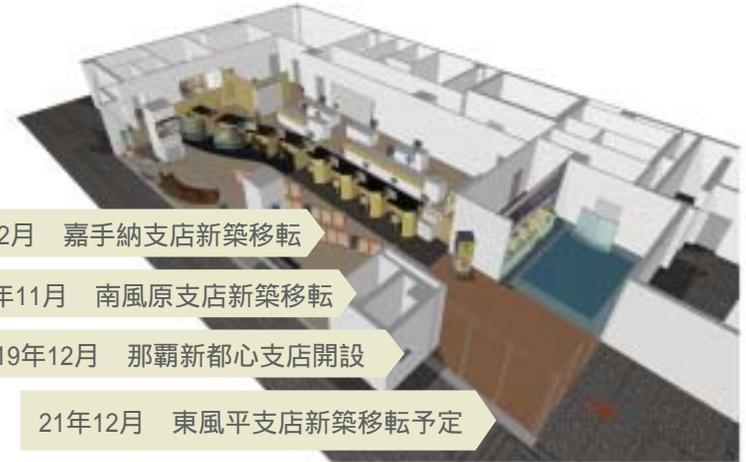
平成21年～22年

### 主な内容

- ・営業要員・融資要員の追加配置（H21.4～）
- ・ブロック制度の導入（H21.10）
- ・ダイレクト・チャンネルの強化（随時）
- ・店舗開設（H21年度下期以降） など



## 相談スペースを充実させた店舗レイアウトの展開



18年12月 嘉手納支店新築移転

19年11月 南風原支店新築移転

19年12月 那覇新都心支店開設

21年12月 東風平支店新築移転予定

## 住宅ローン相談カー「ハローバンク1号」の導入



### ハローバンク1号

お客様のところに出向き店舗同様の相談サービスをご提供します。

車両内に相談カウンターを設置してゆっくりご相談いただける仕様となっています。

## 余剰空間を活用した新サービスの提供

### 貸金庫設置店舗

松尾支店、那覇ポート出張所  
 石嶺支店、商業団地支店  
 コザ支店、普天間支店  
 名護支店、与那原支店  
 宮古支店、八重山支店  
 南風原支店、那覇新都心支店



## 本資料に係るお問い合わせ先

株式会社 琉球銀行 総合企画部

Tel : 098-860-3787

Fax : 098-862-3672

e-mail : [ryugin@ryugin.co.jp](mailto:ryugin@ryugin.co.jp)

本資料は、お断りのない限り単体ベースのデータとなっています。

本資料は、公表データの作成要領に基づき、項目ごとに単位未満切捨てで表示しているため、項目ごとの値と合計とが合わない場合があります。また、前期比等の増減値は表上の値から算出し、増減率等の比率は原数値により算出した値を四捨五入で表示しております。

本資料には、当行に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する情報（将来情報）が含まれています。これら将来情報は、あくまで平成21年11月11日現在において入手可能な情報に基づいて判断されたものであり、将来の業績等を保証するものではありません。また、将来情報の記述には一定の前提・仮定を使用しておりますが、かかる前提・仮定は客観的には不正確であったり、将来実現しない可能性があります。その原因となるリスクや不確実性には様々なものが含まれますが、その詳細については当行の決算短信や有価証券報告書等をご参照ください。なお、当行は本資料に含まれる将来情報の更新はいたしません。